

2023年度 決算説明資料

京都長岡京が本社の
総合物流機器メーカー



ロジスネクストのソリューションが世界の物流を支えています



2024年5月29日
三菱ロジスネクスト株式会社



2023年度 決算概要

三菱ロジスネクスト株式会社
取締役 上席執行役員 CFO 宇野 隆俊

1. 23年度決算のポイント

フォークリフト 市場環境

- 国内はコロナ禍前と同様の水準で引き続き堅調に推移
- 海外はコロナ禍後の需要増の反動で一時減少となったが、足元では回復傾向
- 中国製リチウムイオンバッテリー搭載車の参入による競争激化

当社の状況

- 前中期経営計画『LS23』の数値目標を全ての項目において達成し、売上高、利益ともに過去最高を更新
- リードタイムの長期化は生産整流化による短縮が進み、ほぼ適正水準まで改善。米国のみ24年3月末時点の受注残は9ヶ月分と未だ適正化までは至っていない

業績概要

- 売上高は、国内外における価格適正化の効果拡大、為替の円安影響が寄与したことで、前年同期比+14.0%の増収
- のれん等償却前営業利益は、米州での出荷促進や国内外における価格適正化効果の拡大が寄与したことで、前年同期比+111.5%の増益

売上高

7,017.7億円

YoY +14.0%

営業利益(※)

528.7億円

YoY +111.5%

当期純利益

275.2億円

YoY +298.0%

2. 中期経営計画『LS23』振り返り

中期経営計画「Logisnext SolutionS 2023」(呼称、『LS23』)

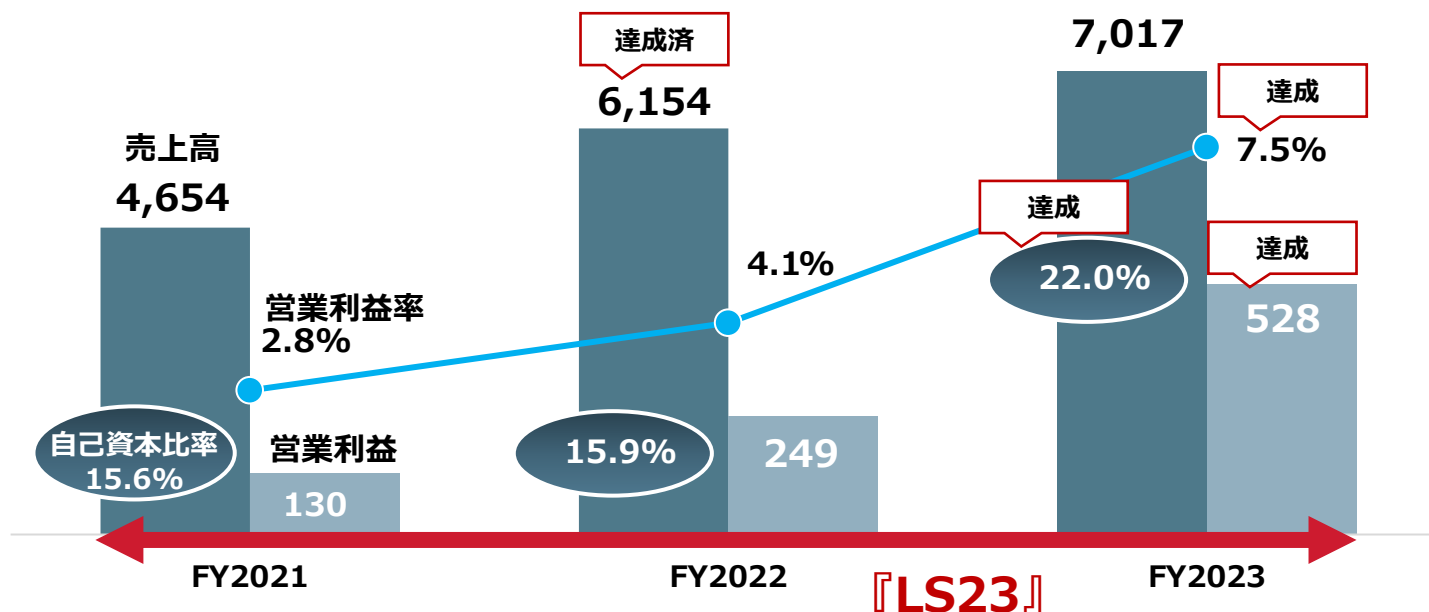
a) 企業耐力の強化

b) 成長戦略の推進

c) ブランド力向上

- ✓ 売上高5,000億円
 - ✓ 営業利益(※)300億円、営業利益率6% (※) のれん等償却前
 - ✓ 自己資本比率20%以上
- ⇒売上高は22年度に前倒し達成
- ⇒営業利益・営業利益率・自己資本比率は23年度で達成

(単位：億円)



3. 決算ハイライト

(単位：億円)

	FY22	FY23	前年同期比増減	
売上高	6,154.2	7,017.7	+863.4	+14.0%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	249.9 (4.1%)	528.7 (7.5%)	+278.8	+111.5%
のれん等償却	102.8	102.7	—	—
営業利益 (営業利益率)	147.0 (2.4%)	426.0 (6.1%)	+278.9	+189.6%
経常利益 (経常利益率)	116.4 (1.9%)	374.7 (5.3%)	+258.3	+221.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	69.1 (1.1%)	275.2 (3.9%)	+206.0	+298.0%
自己資本比率	15.9%	22.0%		
ROE	10.0%	28.6%		

為替レート

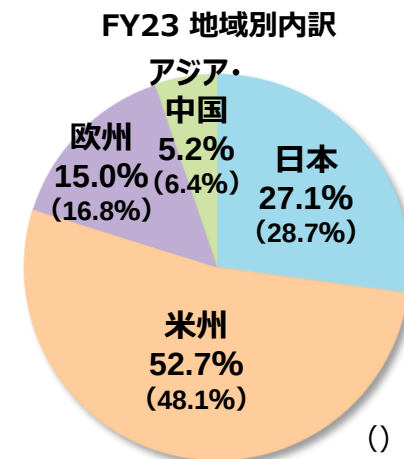
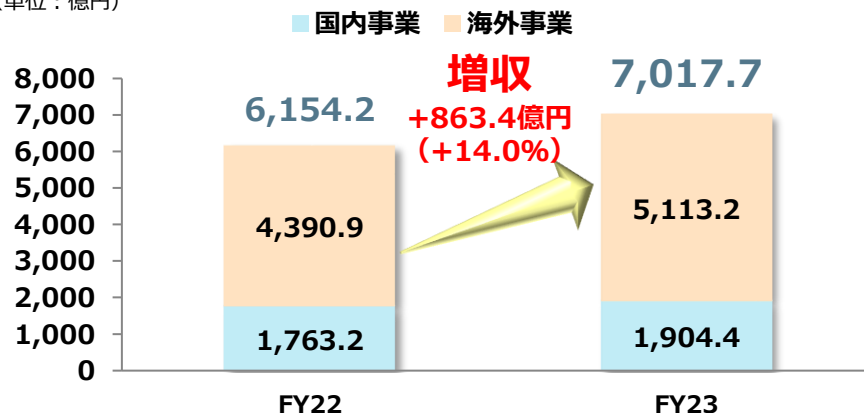
USD	135.47円	144.62円
EUR	140.97円	156.80円
CNY	19.75円	20.14円

4. セグメント別業績

売上高

- 国内外における価格適正化の効果が寄与した
- 為替の円安影響も追い風となり、トータルでは前年同期比+14.0%の増収

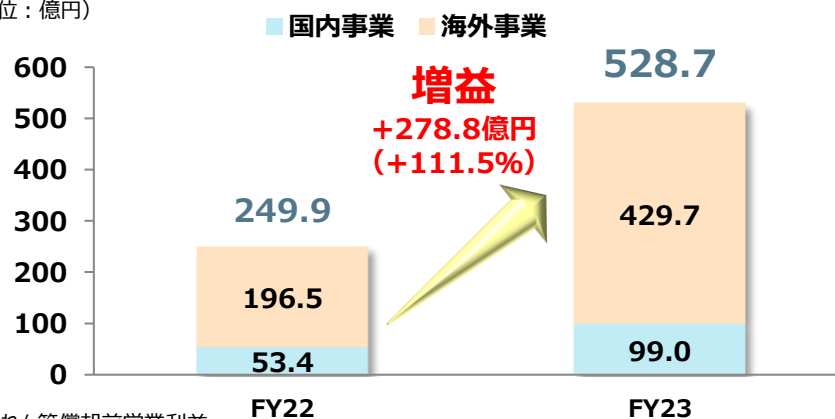
(単位：億円)



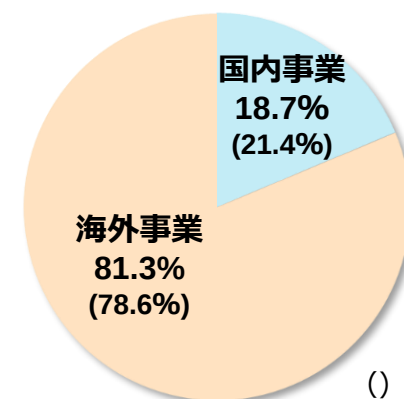
営業利益 (※)

- 価格適正化の効果拡大、海上輸送費の高騰沈静化並びに為替の円安影響が寄与し、トータルは前年同期比+111.5%の増益

(単位：億円)



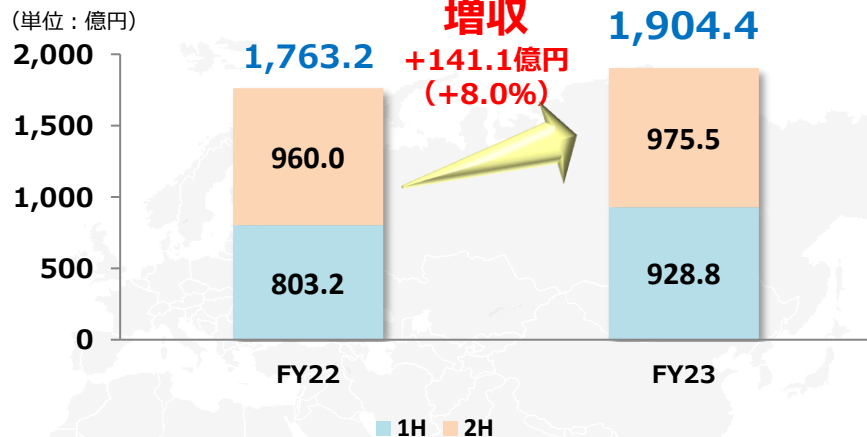
FY23 セグメント別内訳



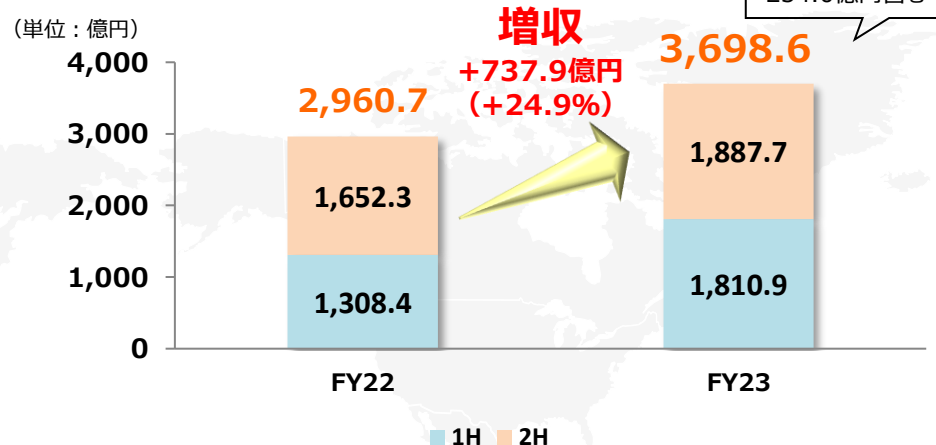
(※)のれん等償却前営業利益

5. 地域別売上高（為替影響含む）

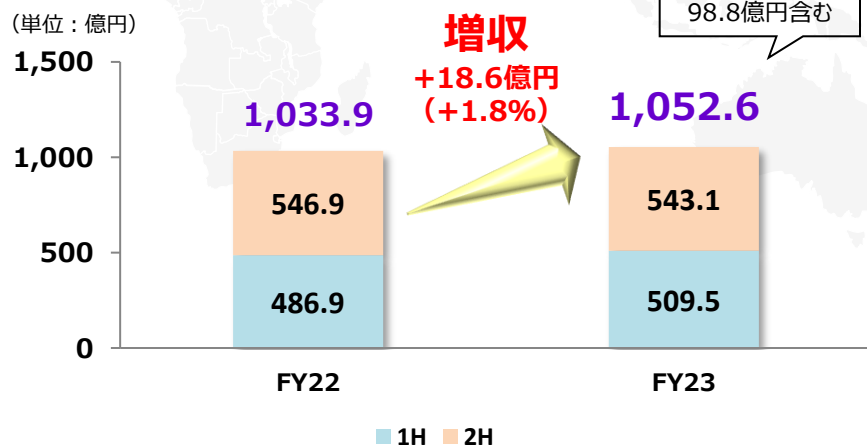
日本



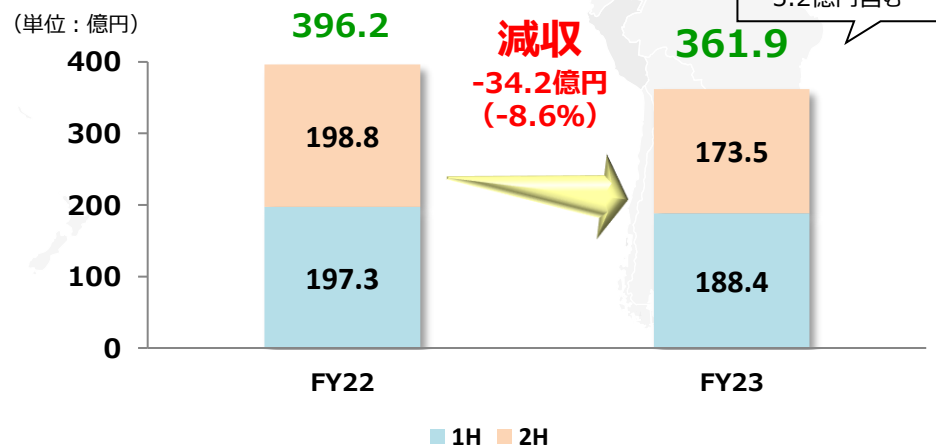
米州



欧州



アジア・中国



6. 連結売上高増減要因（前年同期実績対比）

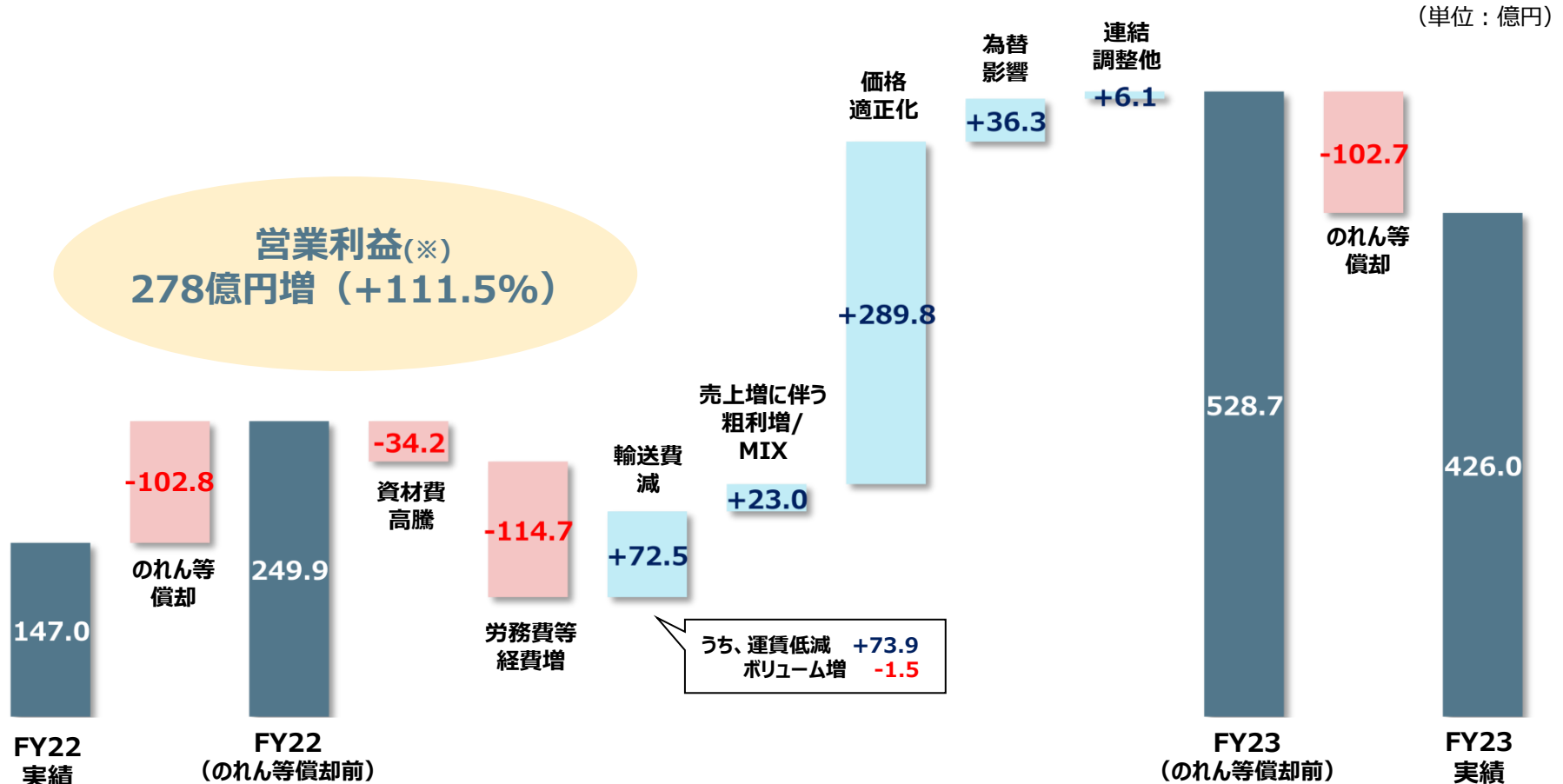
- 国内事業：堅調な受注、部品欠品の解消、価格適正化の効果が寄与し増収
- 海外事業：米州は販売台数増加に伴う価格適正化の効果拡大が寄与し増収。
一方、市況の悪化が響き、欧州、アジア・中国は減収となった

（単位：億円）



7. 連結営業利益^(※)増減要因 (前年同期実績対比) Logisnext

- 資材費は日本で高止まり続く。賃上げ対応に伴う人件費増等のインフレ影響により経費増加
- 価格適正化の効果、海上輸送費の高騰沈静化、為替の円安影響が大きく寄与し、前年同期比+111.5%の増益



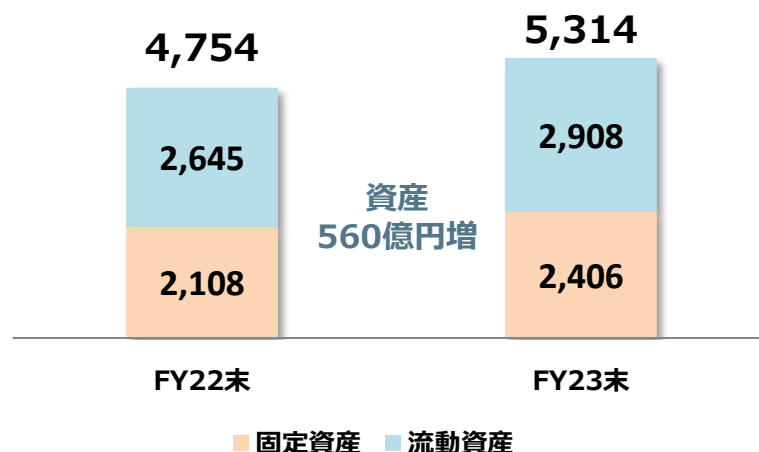
(※)のれん等償却前営業利益

8. 連結貸借対照表

- 純利益の獲得による利益剰余金増及び為替換算調整勘定の増加により純資産が増加。自己資本比率は22.0%に改善し、LS23の目標を達成した

(単位：億円)

資 産



項目	FY22末	FY23末	増減
流動資産	2,645	2,908	+262
(有形固定資産)	1,489	1,791	+302
(無形固定資産)	411	338	-73
(投資その他)	208	276	+68
固定資産計	2,108	2,406	+297
資産合計	4,754	5,314	+560

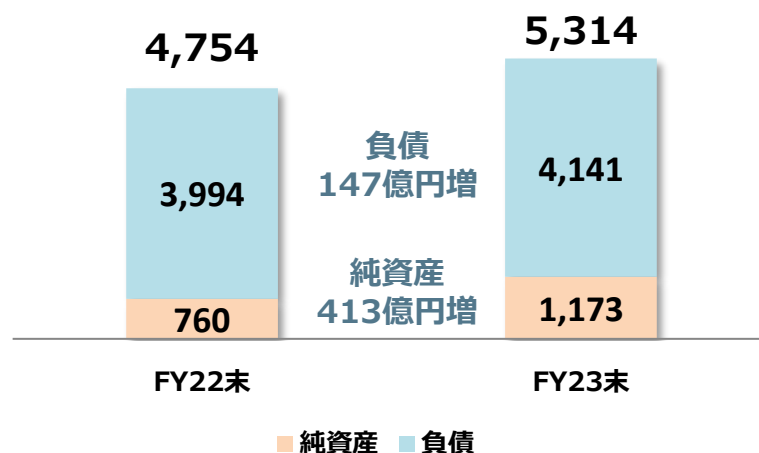
流動資産：増

為替の換算影響、現預金、棚卸資産の増加等

固定資産：増

為替の換算影響、有形固定資産の増加等

負債／純 資産



項目	FY22末	FY23末	増減
流動負債	2,087	2,133	+46
固定負債	1,906	2,007	+100
負債合計	3,994	4,141	+147
純資産計	760	1,173	+413
負債・純資産合計	4,754	5,314	+560

負債：増

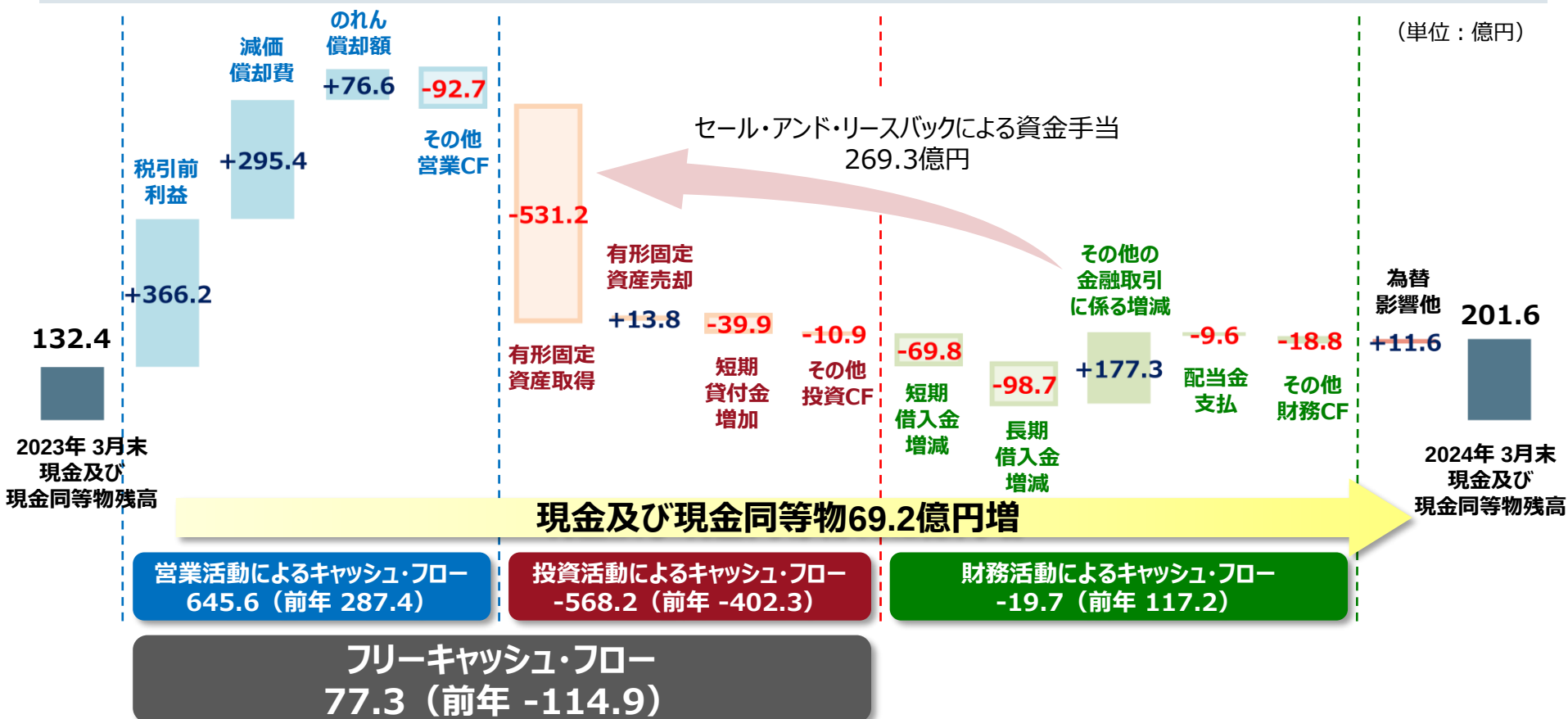
為替の換算影響、その他金融負債の増加等

純資産：増

利益剰余金、為替換算調整勘定の増加

9. キャッシュ・フローの状況

- 営業C/Fは税引前利益が増加したことにより645.6億円を確保
- 投資C/Fは短期貸付金回収から当期は預入に転じたこと（影響額-119.6億円）や有形固定資産の取得による支出の増加により、-568.2億円
- フリーC/Fは営業C/Fの改善により77.3億円と、前年同期比で+192.2億円



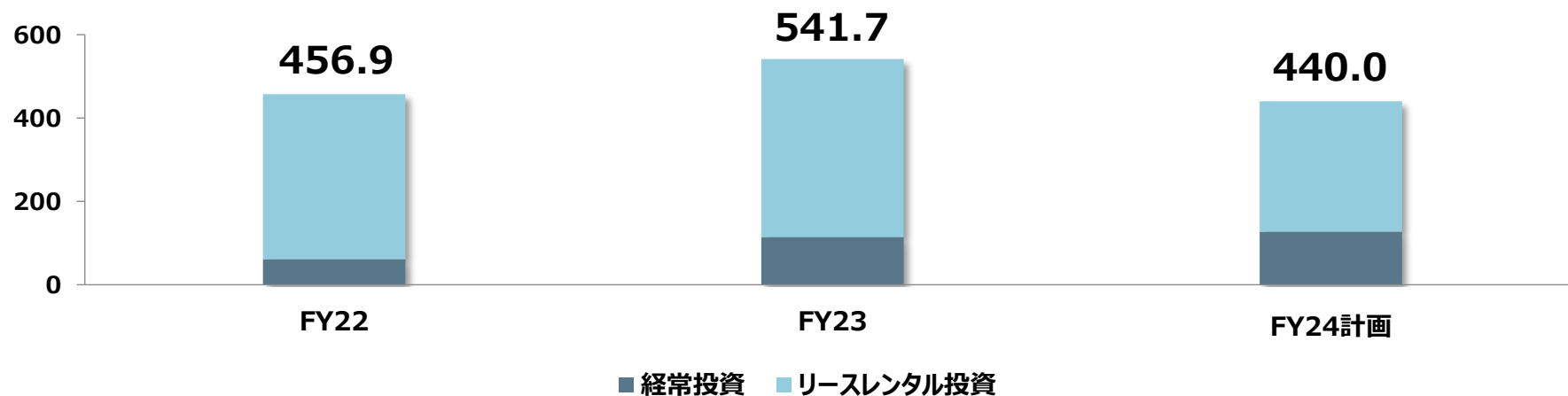
【参考資料】主な経営指標

	指標	算式	FY22		FY23		コメント
				のれん等償却前*1		のれん等償却前*1	
総合	総資本利益率（ROA）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	1.6%		5.5%		売上高の大幅増加、価格適正化の取り組み効果、為替の円安影響による業績回復に伴い、各指数が良化。
	自己資本利益率（ROE）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	10.0%		28.6%		
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	2.4%	4.1%	6.1%	7.5%	
	売上高当期純利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	1.1%	2.7%	3.9%	5.3%	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.4回		1.4回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	6.8回		7.3回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	4.7回		4.5回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	15.9%		22.0%		
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	3.0倍		2.1倍		
株式関連	1株あたり利益	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式数}}$	64.82円		256.06円		
	株価収益率（PER）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	14.5倍		7.3倍		株価： 2023年3月末：941円 2024年3月末：1,894円
	株価純資産倍率（PBR）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.3倍		1.7倍		

*1 参考値

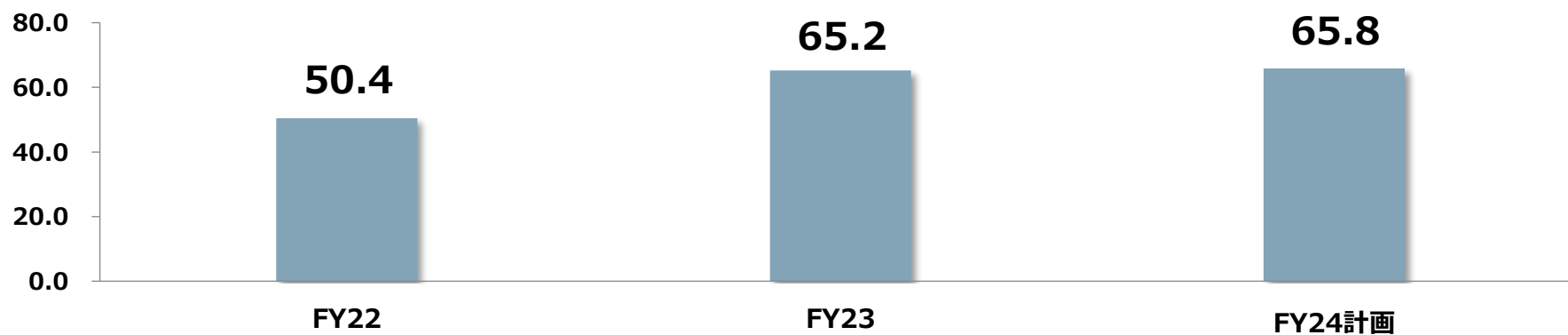
■ 設備投資額

(単位：億円)



■ 研究開発費

(単位：億円)

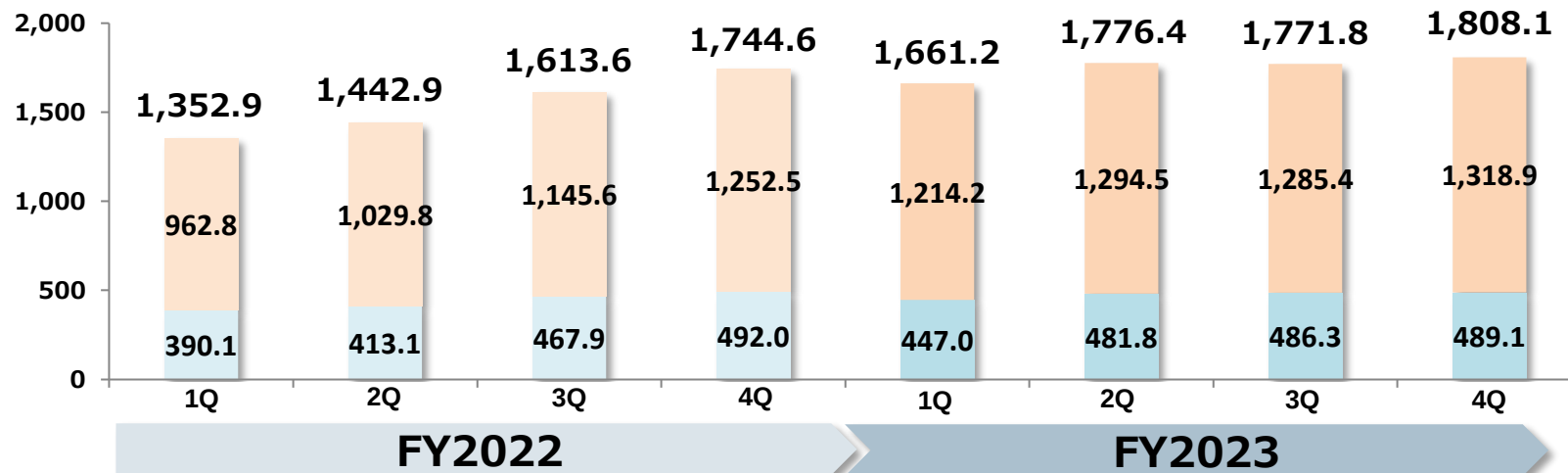


【参考資料】四半期推移 (セグメント別売上高・営業利益)

(単位：億円)

国内事業 海外事業

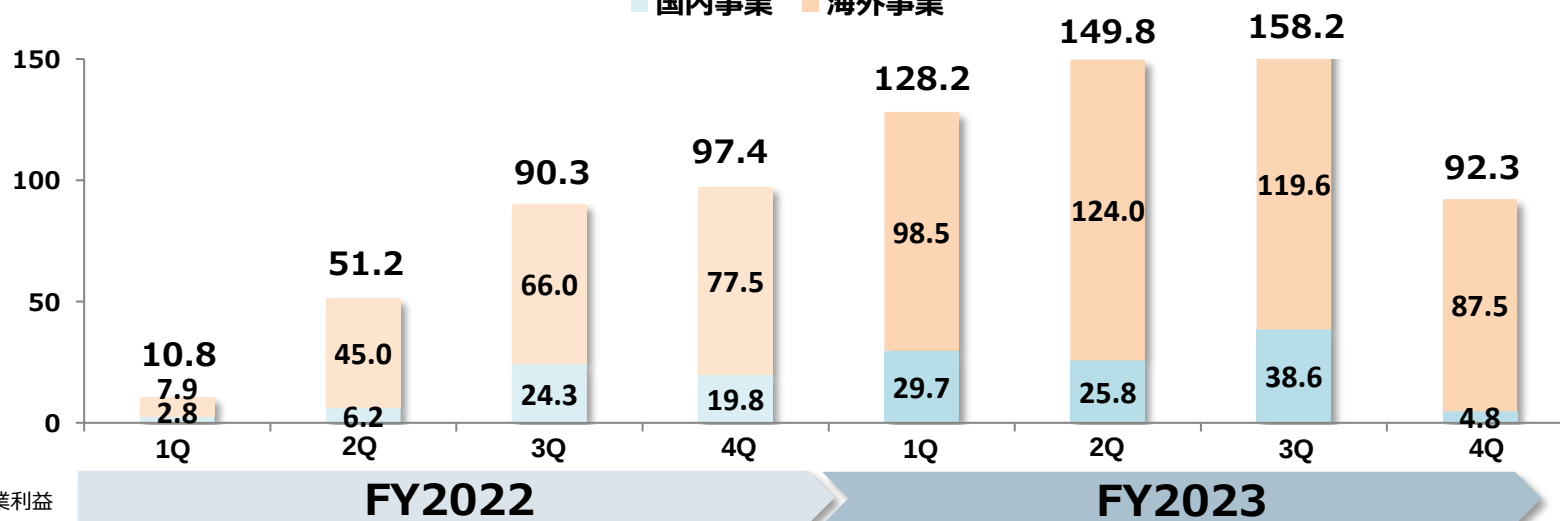
売上高



(単位：億円)

国内事業 海外事業

営業利益
(※)



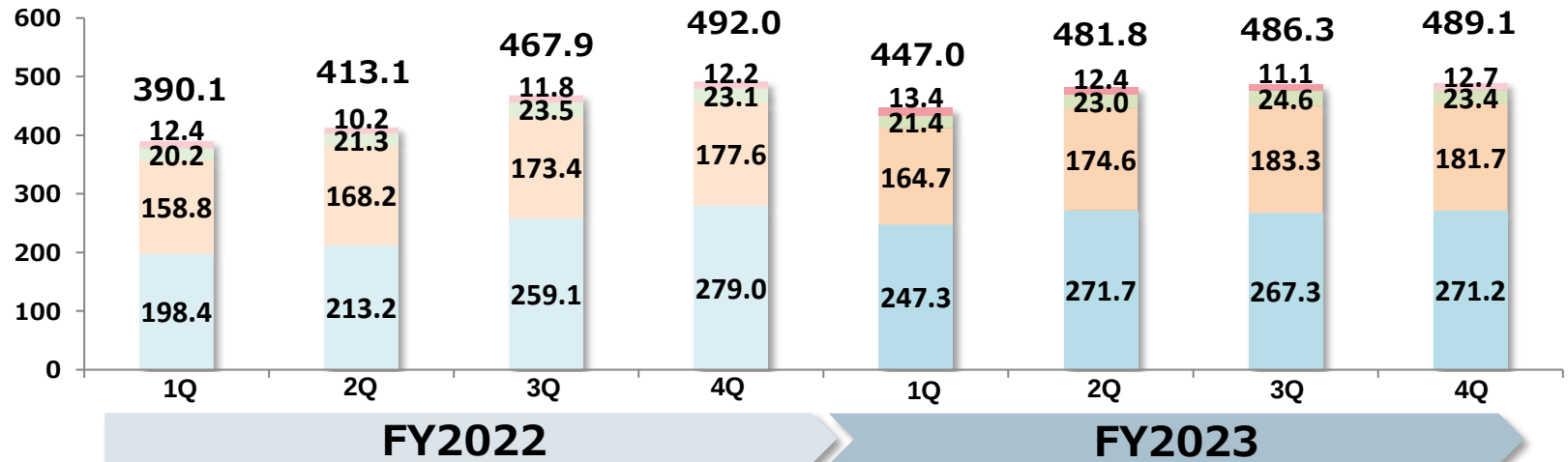
(※) のれん等償却前営業利益

【参考資料】四半期推移（カテゴリー別売上高）

（単位：億円）

製品 アフターサービス リースレンタル その他

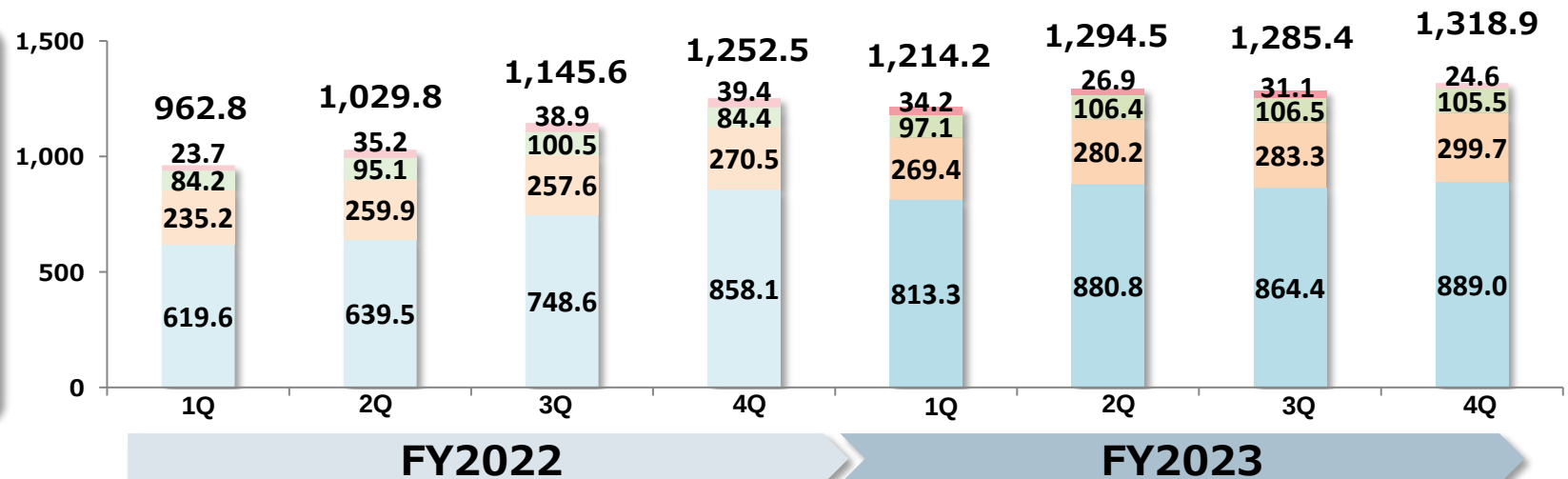
売上高／国内



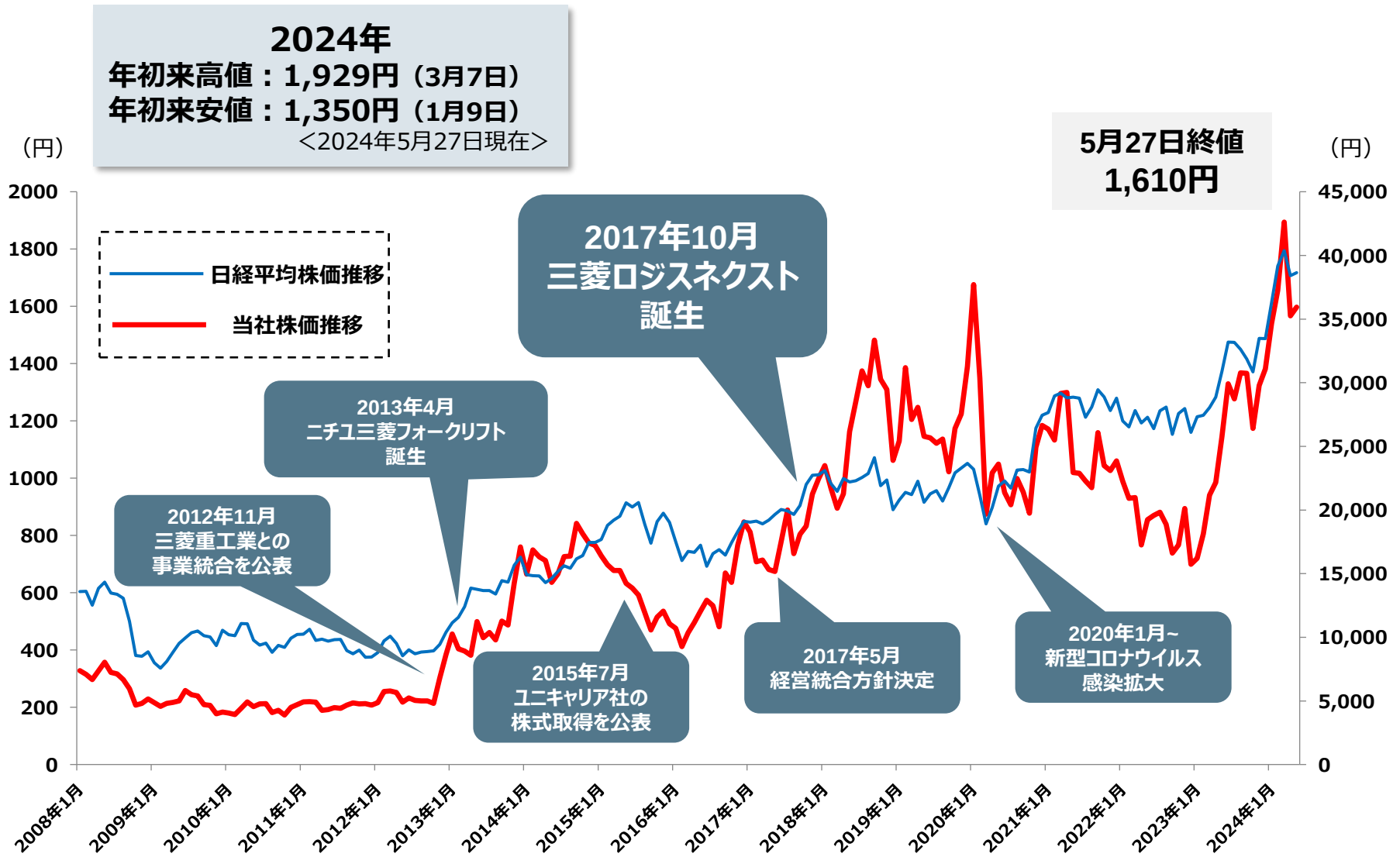
（単位：億円）

製品 アフターサービス リースレンタル その他

売上高／海外



【参考資料】株価の推移



長期経営ビジョン2035及び『LT26』サマリー

三菱ロジスネクスト株式会社
代表取締役社長 間野 裕一

1.長期経営ビジョン2035及び『LT26』サマリー Logisnext

企業理念・パーパス

【企業理念】

「世界のあらゆる物流シーンで、お客様にソリューションを提供し続け、未来創りに貢献する」

【パーパス（社会における存在意義）】

“パイオニア精神とテクノロジーの力で物流の安全、自動化、脱炭素を実現し、世界の人々を笑顔にする”

2035年の事業規模と数値目標

2035年 事業規模

売上高 **1** 兆円

2035年 ソリューション事業売上高

売上高 **2,000** 億円

2035年 バッテリー車比率

90 %以上

中期経営計画(FY24~FY26)

～ 私たちがお客様の物流シーンを変える、社会を変える、私たちも変わる ～

“Logisnext **Transform 2026**”（呼称、『LT26』）

基本戦略

産業車両領域での成長

物流ソリューション事業の飛躍

企業体質改善の継続と事業構造改革への挑戦

2. 『LT26』財務目標値／非財務目標値

財務目標値	FY26	FY35
売上高	7,000億円	1兆円
営業利益（のれん等償却前）	560億円	—
営業利益率（のれん等償却前）	8.0%	—
自己資本比率	30%以上	—
ROE	20%以上	—

『LT26』計画レート： USD=130.00円 EUR=140.00円

非財務目標値		指標	FY26	FY35/FY40
脱炭素	Scope1,2	排出量削減率 （対FY17）	-33%	2040：C/N
	Scope3-⑪	排出量削減率 （対FY17）	-29%	-75% [電気車比率 90%以上]
自動化・自律化		ソリューション 事業売上額	600億円	2,000億円

2024年度 業績予想

三菱ロジスネクスト株式会社
代表取締役社長 間野 裕一

1. 24年度業績予想のポイント

フォークリフト 市場環境

- 国内は24年度も比較的堅調に推移する見込み
- 海外は、米州は代理店の在庫調整により24年度は前年同期比減少を見込む
- 欧州・中国・アジアは底打ちの兆しを見せており、24年度は回復を想定

当社の状況

- バッテリー車シフトに伴うバッテリー車拡販強化に努め、シェアアップを図る
- 米州の一部機種において、エンジンの法定認証プロセスに遅れが生じ、該当する車両の出荷が停止している。早期の認証取得に向けて対応中

業績予想 概要

- 売上高は、海外での落ち込みが影響することで前年同期比-3.1%の減収
- のれん等償却前営業利益は、国内での価格適正化の効果が寄与するものの、インフレによる人件費等の経費や資材費の増加が響き、前年同期比-9.2%の減益
- 当期純利益は、アセットマネジメントによる特別利益を見込み、前年同期比+5.4%の増益

売上高

6,800億円

YoY -3.1%

営業利益(※)

480億円

YoY -9.2%

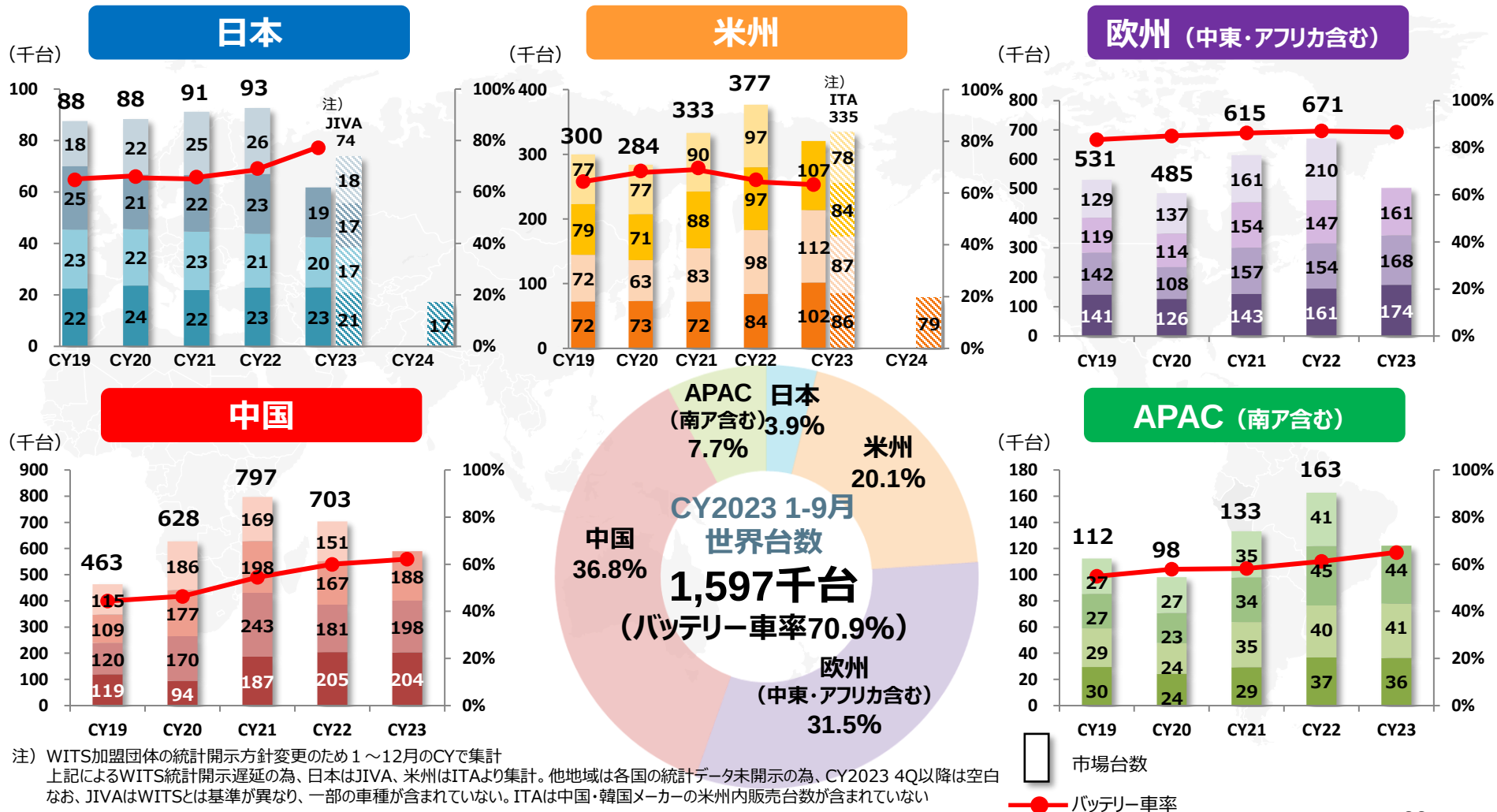
当期純利益

290億円

YoY +5.4%

2. 市場環境 / フォークリフト市場動向【出荷】 Logisnext

- 2024年1~3月において、日本(JIVA統計)は前年同期比で若干減少、米州(ITA統計)も景気減速に伴い出荷は減少傾向

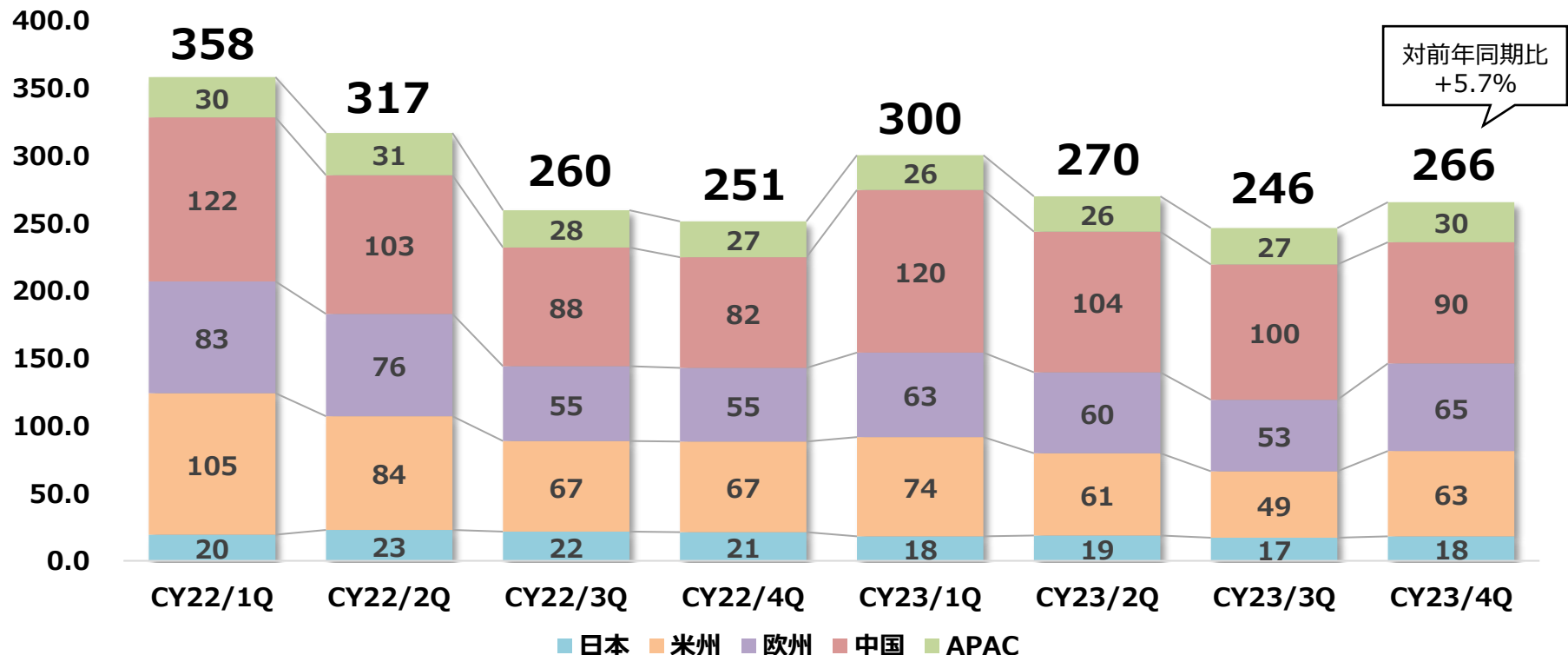


3. 市場環境 / フォークリフト市場動向【受注】 Logisnext

- 前年同期比では欧州・中国・アジアにおいて市場が回復傾向で底打ちの兆しを見せている
- 前四半期比では中国を除く地域で需要が増加

受注台数（ClassⅢ(※) 除く）

（単位：千台）



（※）ClassⅢ：自走式電動小型リフト

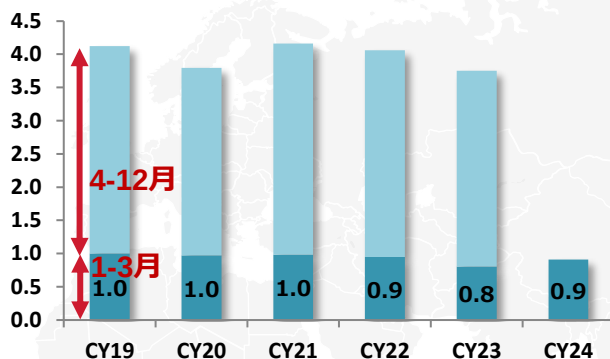
注）WITS加盟団体の統計開示方針変更のため1～12月のCYで集計

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO., LTD. All rights reserved.

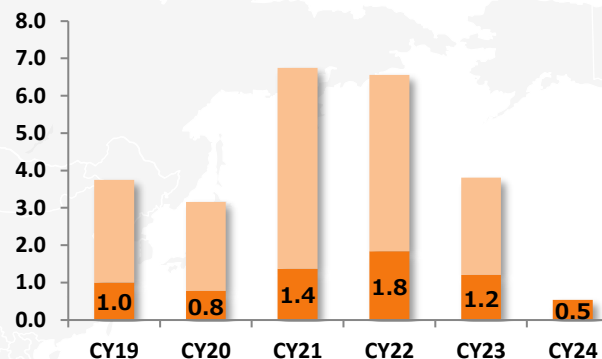
4. 当社受注状況 (1月~3月)

- 日本は比較的堅調に推移。米州は代理店の在庫調整により前年同期比で減少となったが、調整一巡後受注は回復する見込み。なお、24年3月末時点の受注残は9ヵ月程度
- 欧州・中国・アジアは前年同期比横ばいで推移

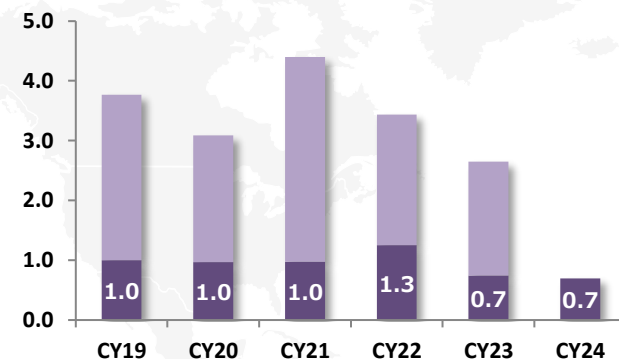
日本



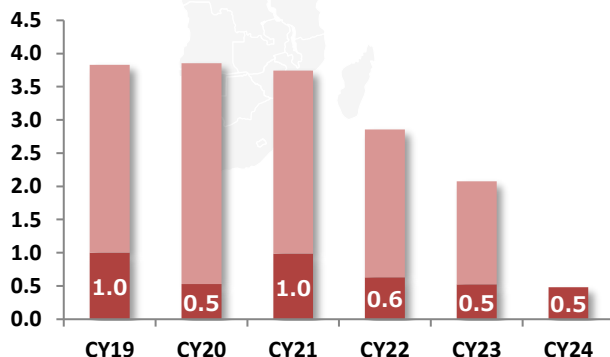
米州



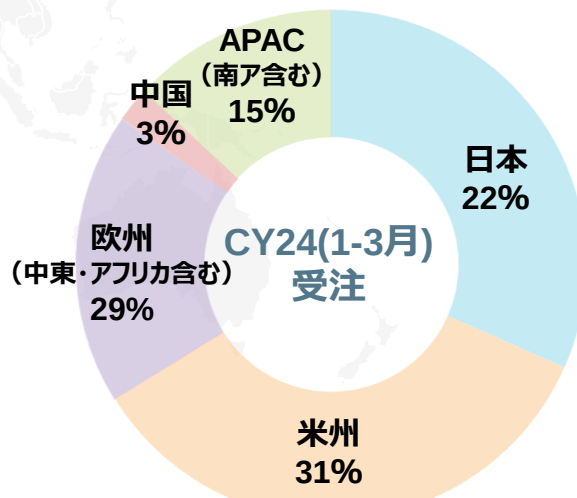
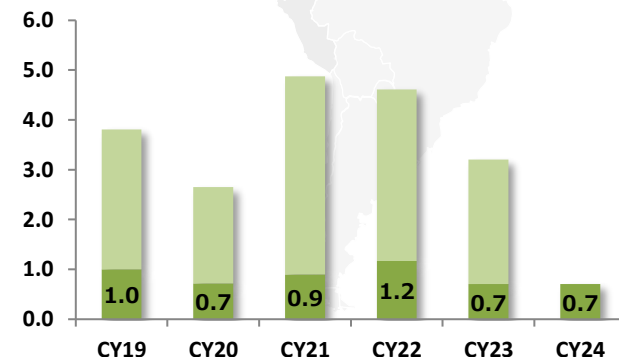
欧州 (中東・アフリカ含む)



中国



APAC (南ア含む)



注) CY2019 1-3月=1として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記であっても見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

5. 米州でのフォークリフト一部機種出荷停止の件 Logisnext

- 米州において前年から24年米国法定エンジン認証の手続きを進めてきたが、認証プロセスに遅れが出ており、5月中旬から一部の機種の出荷を停止している^{*1}
- 米国環境当局^{*2} から認証を取得次第、出荷を再開する予定
- 出荷停止により、米国での1Q業績は大きく落ち込むことが予想されるが、2Q以降で挽回の見込み。なお、本影響については24年度業績予想には織り込み済み
- 本件に関し、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示する

^{*1}: 当社の子会社、グローバルコンポーネントテクノロジー社製のエンジンについて認証取得が遅れている

^{*2}: アメリカ合衆国環境保護庁（United States Environmental Protection Agency）

	FY23実績	FY24 1Q影響
当該機種販売台数	約27,000台	約4,400台

6. 24年度業績予想

(単位：億円)	FY23実績	FY24業績予想	前年同期比増減	
販売台数	110千台	104千台	-6千台	-
売上高	7,017.7	6,800	-217.7	-3.1%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	528.7 (7.5%)	480 (7.1%)	-48.7	-9.2%
のれん等償却	102.7	100	-	-
営業利益 (営業利益率)	426.0 (6.1%)	380 (5.6%)	-46.0	-10.8%
経常利益 (経常利益率)	374.7 (5.3%)	330 (4.9%)	-44.7	-12.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	275.2 (3.9%)	290 (4.3%)	+14.7	+5.4%
自己資本比率	22.0%	25%	-	-
ROE	28.6%	20%以上	-	-
1株あたり配当	20円	24円	+4円	-

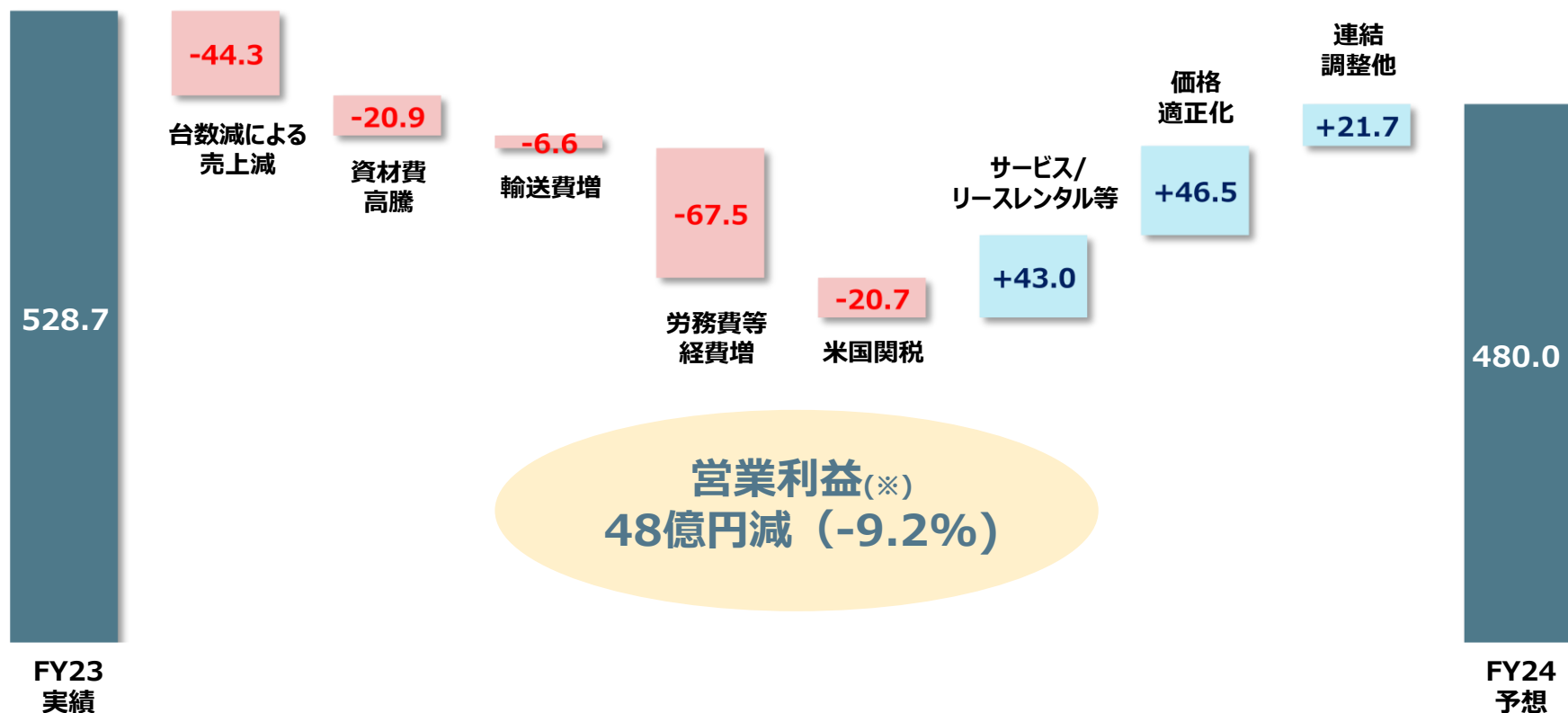
為替レート

USD	144.6円	145.0円
EUR	156.8円	155.0円
CNY	20.1円	20.0円

7. 24年度業績予想 営業利益(※)増減要因

- 国内での価格適正化の効果が寄与するものの、インフレによる人件費等の経費や資材費の増加が響き、前年同期比-9.2%の減益

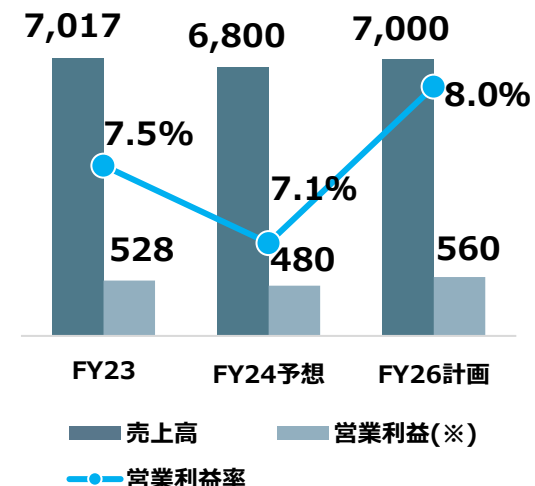
(単位：億円)



(※) のれん等償却前営業利益

8. 24年度業績予想と26年度計画

公表レート	FY23 実績	FY24 予想	FY26 計画(参考)	FY23vs FY24	FY24vs FY26
売上高	7,017	6,800	7,000	-3.1%	-0.0%
営業利益(※) (営業利益率)	528 (7.5%)	480 (7.1%)	560 (8.0%)	-9.2%	+6.1%
自己資本比率	22.0%	25%	30%以上	—	—
ROE	28.6%	20%以上	20%以上	—	—



● 為替レート

FY23実績レート: USD=144.62円 EUR=156.80円 CNY=20.14円

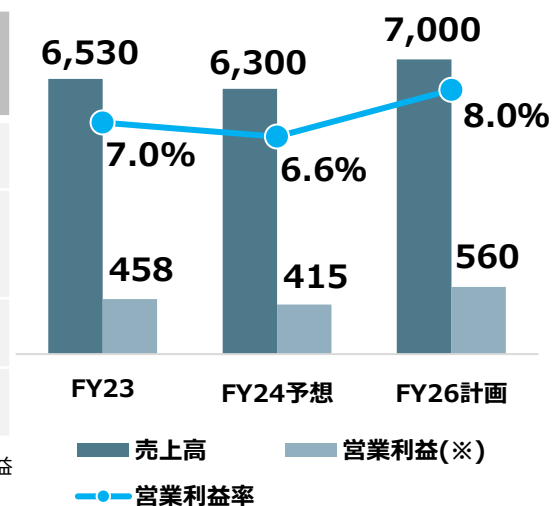
FY24予想レート: USD=145.00円 EUR=155.00円 CNY=20.00円

FY26計画レート: USD=130.00円 EUR=140.00円

(※) のれん等償却前営業利益

<『LT26』レートで23年度実績と24年度予想を換算し直した場合>

『LT26』レート	FY23 実績	FY24 予想	FY26 計画(参考)	FY23vs FY24	FY24vs FY26
売上高	6,530	6,300	7,000	-3.5%	+11.1%
営業利益(※) (営業利益率)	458 (7.0%)	415 (6.6%)	560 (8.0%)	-9.4%	+34.9%
自己資本比率	—	—	30%以上	—	—
ROE	—	—	20%以上	—	—



● 為替レート

『LT26』計画レート: USD=130円 EUR=140円

(※) のれん等償却前営業利益

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 経営戦略室 蒔屋・光行

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-4419 FAX : 075-955-8993

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト